

もりや里山新聞

4/8

【土曜日】
発行

守谷里山ネット

一・森林・林業体験学習

平成二八年十月二十九日(土)郷州小学校、十一月五日(土)黒内小学校において「森林・林業体験学習事業」が行われました。

茨城県南農林事務所が主催するもので、郷州小学校は地元の郷州里山の会、黒内小学校は「ママモリ」がサポートを務めました。

郷州小学校は文化祭の一環として行われ、八時四〇分から各教室で始まり、冒頭に県の林業専門家



から体験学習冊子「いばらきの森と湖」を活用して、茨城県の森林の状況や森林の働き・育て方などについて解りやすく説明が行われました。

その後、木工工作体験となり、一年生はドングリ工作でドングリにカラーペンで目鼻などを描き丸太の台座にボンドつけします。

皆それぞれ個性的な顔に仕上がりましたが、台座の丸太切りが大変でした。父兄も手伝いましたが、慣れない作業でなかなか上手に切れません。

私は取材だけの心づもりで参加したのですが、ここは里山の会として丸太切りはお手の物であることから、ついあれこれと口だけでなく手も足も出してしまいました。ノコギリは新しく切れるのですが、固定する台座が机では滑ってしまうことから椅子の背もたれを活用しました。ノコの引き方などをアドバイスしましたが、やはり一年生では非力で時間がかかりました。つい仕上げに手出しをしてしまい、大汗をかきました。小さい



子供や父兄と真剣になって大声を出し楽しい時間でした。

三年生と四年生の工作体験はマイ箸づくりに丸太切り・コースターづくりです。こちらは製作キットがあるので数人毎に班編成し、サポーターが補助します。最初はカンナを引くコツがつかめず苦労していましたが、慣れてくると上手にできるようになりました。薄くカンナかけされたヒノキは臭いがいいことから、持ち帰る子供もいました。子供達は、それぞれの作業をこなしながら笑顔いっぱいでした。(清野)

目次

1. 森林・林業体験学習
2. 土塔森林公園で秋の自然観察会
3. ママが活躍する‘まち’プロジェクト講演会
4. 竹林整備と炭焼き
5. 平成29年里山暦

ボランティア募集
あなたも一緒に楽しみましょう!

守谷里山ネットワーク

〒302-0119

守谷市御所ケ丘 5-25-1

守谷市民交流プラザ内守谷市民活動支援センター

TEL0297-46-3770 メール denen21@hb.tp1.jp

ホームページ「野に集い野に遊ぶ」

<http://w01.tp1.jp/~a071771011/index.html>



守谷市では、多くのボランティア団体が各地で、手作りによる里山づくりを行っています。何か地域で活動してみたい/自然と関わりのある活動してみたい/子供たちの遊び場を作ってみたい/みんなで楽しく汗をかいてみたいそんな思いをお持ちの方は、ぜひこの機会にご一緒に活動してみませんか。

二. 土塔森林公園で秋の

自然観察会

守谷市生涯学習課主催による恒例の標記観察会が、平成二八年九月二四日に開催されました。参加者は大人十三名に子供七人、関係者含めて計約二五名。春の観察会と同様、岩田係長および土田さんの挨拶、先導のもと、植物・きのこ関係については藤代高校の飯田教諭、野鳥については、菅原氏と岡本氏、昆虫類については愛宕中学校三年生の新妻さんからご指導を受けながら散策しました (Photo 1)。



公園内は整備が行き届い

ていることもあり、日が当たらない樹木類の林床には草花はほとんど見られず、その代わりにきのこ



Photo 2

トハギ、カゼクサ、ヒメジソ、フエ (Photo 5)、アレチヌスビトハギ、カゼクサ、ヒメジソ、フエノハナワラビ等が観察されました。

類が大発生していました。この公園は名前のとおり、多種類の樹木約十五種類が林立しており、針葉樹はアカマツとクロマツ、そのほかは広葉樹で特にコナラやエゴノキ、ヤマザクラ、イヌザクラ、コブシが多いように思いました。この時期ひときわ目立ったのがゴズイ (Photo 2)。そしてムクノキやクヌギ、コナラ、マテバシイ、シラカシ、エゴノキなどは多くの実をつけ、または落下しているのが確認されました。



Photo 3



Photo 4

林床から少しはずれて日の当たる草はらでは、ヤマブドウに似たエビズル (Photo 3、葉の裏が白色)、キンエノコロ (Photo 4)、シマスズメノヒエ (Photo 5)、アレチヌスビトハギ、カゼクサ、ヒメジソ、フエノハナワラビ等が観察されました。

昆虫類ではギシギシ葉裏にいたヨモギエダシヤクの幼虫 (Photo 6) やクビキリギス、ヨコズナサシガメ (外来種) など、大小さまざまな虫たちに出会うことができました。きのこ類では、特に目を引いたのが赤色のヤブレベニダケ? (Photo 7) と黄色のキタマゴダケ? (Photo 8) でした。そのほかにもカレエダダケ、シロソウメンダケ、コテングダケモドキ? などいろいろな形や色彩のきのこを観察することができました。また、中央公民館「平和の塔」近くにある黒内小学校の観察エリアでは、多くのヤマユリが実をつけ、ノハラアザミが群落を作り、ヤマハギやナンテンハギも確認されました (Photo 9)。



Photo 5



Photo 6

以上講評では、草本類は少なかつたものの、実りの秋らしく各種ドングリ (クヌギ、コナラ、マテバシイ、シラカシ等) が沢山みられたこと、またこの時期のきのこ類の観察には最適の場所であることが報告されました。野鳥類については岡本氏から今回は少なく七種 (ヒヨドリ、ウグイス、ハシブトガラス、ハシボソガラス、キジバト、シジュウガラ、カワラヒワ) のみであったこと、さらに昆虫類ではウスバキトンボ、バツタ類など思ったより多くの種類が観察されたことが報告されました。



Photo 7



Photo 8

あいにくの天気でしたが午前中は雨も降らず、蚊の大群に悩まされながらもラッキーな観察会となりました。(南記)



Photo 9



三、ママプロ「ママが活躍する、まち、プロジェクト」講演会と東京おもちゃ美術館 館視察

「もりや子育てネットワークまもり」を始めとした数グループが協力して本年度はママプロ「ママが活躍する、まち、プロジェクト」に取り組んでいるところですが、一月十五日(日)市役所大会議室で東京おもちゃ美術館の多田館長による講演会を開催しました。講演会に先立って午前十一時半

から関係者による昼食会を兼ねた懇親会が開催され、ママプロのスタッフの他、東京おもちゃ美術館の館長とおもちゃ学芸員、守谷市役所、茨城県南農林事務所林業振興課、公益社団法人茨城県林業協会、茨城県産材普及促進協議会の建築家部会「きとき」と守谷里山ネットワークが参加しました。



「守谷里山ネットワーク」は最後の地元からの発表として、守谷の里山活動の紹介、最近のまもりとの子供自然体験の取り組み、高齢者の生きがいづくりと子育て世代の交流による多世代連携の重要性、その舞台として斜面林の活用ができないか、といった問題提起をしておきました。

講演会は基調講演として、東京おもちゃ美術館の多田館長から第一部「赤ちゃんもシニアも心豊かになる 木と触れ合う木育活動」第二部は「おもちゃ美術館に学ぶ 若者からシニアまでが、子供達のために活躍できる場所づくり」が行われました。その間に茨城県の林業トーク「公益社団法人茨城県林業協会と茨城県南農林事務所林業振興課」守谷保育所、つくば市幼保園の木質化「茨城県産材普及促進協議会建築家部会きとき」と、からそれぞれ

最後に、東京おもちゃ美術館でボランティア活動を通して思うこと「まもりスタッフ・東京おもちゃ美術館学芸員、ママプロに参加して、また今後の展望「ママプロスタッフ」などからトークが行われました。後半、松丸市長も参加して意見交換が行われました。ママモリ、ママプロは名前の通り若い

ママさんのグループですが、様々な取り組みを連続的に熱心に推進し、その行動力には感心します。また東京おもちゃ美術館はおもちゃの展示館ではなく学芸員を通じて子供とのふれあいを基本としたものでした。林野庁の支援があるとはいいいながら、たかがおもちゃと言うにはそのプロジェクトの展開が全国的、地域振興にもつながる実践的なもので、その運営手法なども大変参考になりました。二月三日(金)には、東京四谷のおもちゃ美術館を視察するという案内を頂き、途中から参加させてもらいました。運営スタッフにも直接話を伺うことができ、高齢者中心でしたが東京だけでなく遠方の他県から参加する者もいて、幼児連れの親子との多世代交流につながっており、守谷里山の運営方法としても重要なことと思



いました。



炭窯内部

四. 竹林整備と炭焼き

里山の冬期作業は竹林整備です。立沢里山の会では、今年も十一月から伐採作業が始まり、四月十日には伐採した竹材を二mに切断して積み重ねて乾燥させました。一月から二月には、約七十cmにチェンソーで定尺裁断



守谷里山ごよみ17

作成:守谷里山ネット

月日	行事名	場所	内容	主催者
1月上旬	あわんとり	高野利根川河川敷	どんと焼き	利根川の自然を考える会
1月~3月	里山整備	立沢里山	竹林、木道等整備	立沢里山の会
	くるみ公園整備	高野	樹木整備	利根川の自然を考える会
	フィールド整備	同地	林床整備、炭焼き	茨城森林クラブ
4月上旬	竹炭焼き	県自然博物館	炭焼き作業	立沢里山の会
	大野ウォーキング	大野川周辺	ウォーキング	ふるさと大野を語る会 大野公民館
	春の自然観察会	市内里山	自然案内人とウォーク	守谷市生涯学習課
5月	たんぼりレー田植え	大野たんぼ	大野小田植え	大野小学校
	田植え	高野	高野小田植え	利根川の自然を考える会
	田植え、自然体験	立沢里山	幼児田植え、自然体験	ままもり、里山ネット
	田植え	立沢里山	御所ヶ丘、松前谷、大井沢小学校合同田植	立沢里山の会
	古代米田植え	同地	古代米田植	茨城森林クラブ
7月上旬	山百合鑑賞会 山百合自生地ツアー	高野公民館 市内	山百合鑑賞	守谷山百合の会 守谷里山ネット
7月中下旬	下ヶ戸ホテル祭	下ヶ戸山百合広場	盆踊り、ホテル放流	下ヶ戸自治会 大柏里山の会
	ホテル鑑賞のタベ	立沢里山	ホテル鑑賞会	守谷里山ネット 立沢里山の会
	親子自然体験	立沢里山	野遊び、そーめん流し	ままもり、守谷里山ネット
8月中旬	北守谷夏祭り	立沢公園	バザー参加、里山展示	立沢里山の会
9月上旬	親子稲刈り、収穫感謝	立沢里山	親子稲刈り、自然体験	ままもり、里山ネット
9月中旬	稲刈り	立沢里山	御所ヶ丘、松前谷、大井沢小学校合同稲刈り	立沢里山の会
	稲刈り	高野	高野小田植え	利根川の自然を考える会
	古代米稲刈り	同地	稲刈り	茨城森林クラブ
9月下旬	十五夜とろうろ踊り	大野小学校	月見他	ふるさと大野を語る会
	彼岸花祭り	利根川斜面林	彼岸花鑑賞	彼岸花祭り実行委員会
10月上旬	大野ウォーキング	大野川周辺	散策	ふるさと大野を語る会 大野公民館
	秋の自然観察会	守谷里山	自然案内人とウォーク	守谷市生涯学習課
10月	脱穀	立沢里山	脱穀	立沢里山の会
	古代米脱穀	同地	脱穀	茨城森林クラブ
11月中旬	山百合鉢植講習会	高野公民館	鉢植え	守谷市生涯学習課
	山百合球根植替	高野公民館	球根植替	守谷山百合の会
12月	竹林整備	立沢里山	竹林伐採、炭焼き準備	立沢里山の会

し、小割りにして節をとり束ねる作業を行いました。そして、三月二十五日(土)に坂東市の県自然博物館内の炭窯「博楽玄窯」に軽トラックで搬入しました。作業が順調に進んだことから、搬入当日の午後に余熱火入れを行

い三時間ほどで一旦火止めして、月と二日置いて火曜日の午前九時に本火入れを行いました。着火時点でも釜の中は暖かさが残っており、午後一時過ぎには排気煙の温度が八〇度近くまで上がったので竹酢液の回収を始めました。今年には余熱を二日間と長くした

五. 平成二九年度里山暦

こと、竹材として立ち枯れた竹の根元の丸竹を多くしてみたことなどが立ちあがりの速さの要因かもしれません。